

東みよし町農業委員会 農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況（最終公表）※令和6年4月30日受付終了時点

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第19条第2項及び同法施行規則第12条第1項の規定に基づき、推薦を受けた者及び募集に応募した者を公表します。

【総括表】

区分	人数	うち地区別人数					
		三好地区			三加茂地区		
		東山	昼間	足代	加茂	西庄	中庄・毛田
1 推薦を受けた者 (個人又は団体推薦)	2	1	0	0	0	1	0
2 応募した者(推薦を除く)	15	0	5	2	6	1	1
合計	17	1	5	2	6	2	1

【推薦・応募の状況】

1. 推薦を受けた者(個人推薦)

番号	氏名	性別	年齢	職業 (勤務先)	農業経営状況 (農業者のみ記載)	経歴 (主な職業経歴等)	氏名	性別	年齢	推薦する 区域	推薦理由	農業委員への 推薦 又は応募	
1	元木 恵次	男	70	農業	トマト・キュウリ 2,000㎡ スナックエンドウ 1,000㎡	自営の有限会社元木商事で主に運送業に従事。その傍らで農業にも従事。	川原 隆	男	73	西庄	元木さんは長年に渡り山間部で農業に従事していると同時に、農業に対して意欲もあり、また、高齢化の特に顕著な山間地域のこれからの地域農業の推進と農地の利用調整に大きな力になると思います。今回農地利用最適化推進委員に推薦しました。	×	
					農業従事日数		250日/年	久保 春好	男				73
					農業経験年数		40年						
2	近藤 博美	男	72	農業	野菜畑 2,700㎡ 果樹 1,000㎡ 茶畑 400㎡	昭和45年～平成2年 農業 平成3年～平成27年 株式会社 仲南土木 平成28年～ 農業	武内 政行	男	69	東山	農業に従事しています近藤さん(経験のある方)に引き続きお願いすることで葛籠・男山自治会長より推薦しました。	×	
					農業従事日数		270日/年	長尾 英喜	男				68
					農業経験年数		28年						

2. 推薦を受けた者(団体推薦)

無し

3. 応募した者

番号	氏名	性別	年齢	職業 (勤務先)	農業経営状況 (農業者のみ記載)	経歴 (主な職業経歴等)	応募する 区域	応募理由	農業委員 への推薦 又は応募
1	加藤 博文	男	68	農業	水稲 8,500㎡ 畑作 1,000㎡ 農業従事日数 250日/年 農業経験年数 20年	~平成28年 東みよし町役場 平成28年~現在 農業	昼間	地域の担い手への農地集積や遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進などを行い、地域を活性化したい。	×
2	郷田 孝樹	男	50	代表社員	よもぎ・柿 22,000㎡ 農業従事日数 365日/年 農業経験年数 7年	平成8年4月1日から平成23年3月31日まで日本総合住生活株式会社 平成23年4月1日から平成25年3月31日まで堺市役所（行政一般職） 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで 独立行政法人鉄道建設委・運輸施設整備支援機構大阪支社担当係長 平成26年4月1日から平成28年3月31日まで 公立大学法人大阪府立大学総括主査 平成28年4月1日から令和3年8月22日まで アイ・ティ・ジェイ株式会社取締役 平成29年1月18日から現在 合同会社エナジー・ベース代表社員	昼間・加茂	私は大学において法学を学び、大学院（関西学院大学総合政策研究科）時代に、ここ数十年各界において課題となっている「持続可能性」を探るための「環境研究」を行なった。総合政策研究科は兵庫県三田市にあったため、大学周辺は多数の農地があり、同級生のなかにも自然保護・環境保全に資する「里山」研究に携わる者も数多くいた。当時から利活用されていない農地は数多くあり、「耕作放棄地」の問題は将来的にも十二分に予見できる課題であった。 両親の故郷である西阿波で行った営農型太陽光発電は、「耕作放棄地」問題の有効かつ即効的解決策となるだけでなく、欧州と比して大変遅れている我が国の自然エネルギー開発政策にも大いに資するものである。この政策の普及促進は、農地を壊してしまう政策ではなく、農地の有効利用の意義・重要性を地域に広く伝えることにも大変重要な役割を果たすものである。貴町において全国に先駆けた先駆的取り組みを行うことが、引いては新規事業者の参入による「地域活性化」も促すことになる。このまま耕作放棄地を放っておけば、周辺農業者に単に迷惑がかかるだけでなく、周辺有事や世界人口増加問題を想定した際の「危機的食糧難」があったとしても、日常管理がされていない「農地」での急ごしらえでは作物は育たない。農地の「耕作放棄地解消も含めた適正維持保全」がなされる策を是非とも貴町の委員に就任して意見したいと考えたため応募したものである。 現状において、私は法人代表として営農型太陽光発電所の設置普及に尽力するべく、農業関連各種資格（日本農業技術検定2級、日本農業検定1級、砂利採取業務主任者、危険物取扱者乙種四類、2級土壤医、防火管理者、2級ボイラー技士、毒物・劇物取扱責任者）及び電気管理各種資格（第一種電気工事士、第二種電気工事士、第三種電気主任技術者）を取得し、太陽光発電所内営農作業に一定の電気保守管理知見も併せて保有しつつ、営農作業に鋭意努力している次第である。	○
3	郷田 博基	男	48	農業	よもぎ・柿 22,000㎡ 農業従事日数 365日/年 農業経験年数 7年	平成15年~ 鍼灸整骨院経営 平成30年~ 農業	昼間・加茂	よもぎ栽培で一定実績を上げることができたのでその経験を社会貢献活動の一環として貴委員会で見聞したいと考えたため	○

4	清水 雅文	男	48	自営業	よもぎ・柿 22,000㎡	平成10年4月1日から平成15年3月31日まで 株式会社ドウシシャ（ジュエリー営業DIV）入社 平成15年4月1日から平成20年3月31日まで 同社同部門アシスタントマネージャー（主任クラス） 平成20年11月1日から平成23年3月31日まで 同社同部門マネージャー（係長クラス） 平成23年4月1日から平成25年4月30日まで 同社同部門グループマネージャー（課長クラス） 平成25年5月1日から令和3年3月31日まで 同社（時計・ジュエリー営業DIV）グループマネージャー（課長クラス） 令和3年4月1日から現在 青空よもぎの「しみず」代表	昼間・加茂	大学進学時から創業の目標を持っていましたので、近畿大学商経学部商学科に入学しました。 在学中、卒業論文では、米の栽培、特に米のとぎ汁の公害について大きな興味を持ったため、無洗米の流通拡大について研究しました。大学卒業後、株式会社ドウシシャに入社しました。同社営業部門に配属となりました。同社において商品の仕入れから流通、自社開発製品のマーケティング、販売方法を学びました。取引先は、100社以上担当しましたが、大手企業などあらゆる業態（通販、WEB、旅行業界、人材派遣、GMS（量販店）、ホームセンター、全国の生協、郵便局）への販路拡大を行いました。おかげで特に異業種への商品提案が得意分野となりました。お客様のニーズを捉えて新たな販路を創造する能力を培うことができました。今までの経験を生かして、大切な農地を有効に活用できるような新たな発想で取り組んでいきたいと思っています。 令和3年4月から個人事業主（ <a href="https://www.emerald-yomogi.com/">https://www.emerald-yomogi.com/</a> ）として、「よもぎ」を生産販売する傍ら、地域消防団活動・保護司として地域貢献活動に従事してきました。これまでに四国放送株式会社「フォーカス徳島」におけるJR鳴門駅前足湯での「よもぎのお風呂」使用紹介、NHK「とく6」における「よもぎ」栽培についての取材、株式会社池田ケーブルネットワーク「生産者を見つけました」コーナーでの放送、徳島県「すだちくんよろず相談所」第一回放送といった地元生産者情報発信機会も得ました。今後も更なる地域貢献活動に参画していくため、このたび農業委員及び農地利用最適化推進委員に応募したものです。	○		
										農業従事日数	365日/年
										農業経験年数	7年
5	新田 英樹	男	73	農業	水稲 1,500㎡（休耕中）	昭和49年～平成28年 四電関係 他 技術職 他	足代	現在NPO法人「三好素人農事研究会」に加盟しており、農業に携わっており、興味を持つことも多い。 今後もさらに、自己啓発して農業を頑張りたい。	×		
										農業従事日数	-
										農業経験年数	20年
6	田岡 和人	男	67	会社員 (株式会社大建)	水稲 4,000㎡	昭和50年4月～現在 株式会社大建 平成30年8月～令和6年 東みよし町農業委員	加茂	年々耕作放棄地や遊休農地が増えてきており、高齢化や後継者不足により農地の管理が難しくなっていると感じています。土地の有効利用の推進を図り、この現状を打開することに少しでも貢献できればと思い、応募します。	○		
										農業従事日数	150日/年
										農業経験年数	43年
7	前田 眞二	男	68	農業	水稲 2,500㎡ 畑作 700㎡	昭和49年～平成27年 国鉄→JR四国	中庄・毛田	かつては、どの水田でも稲作に励んでいましたが、現在は農業後継者不足で耕作放棄地が増えています。農地の有効活用の推進を図り、地域農業に貢献したいと思っています。	×		
										農業従事日数	100日/年
										農業経験年数	40年
8	近藤 昭	男	72	農業	いちご 4,600㎡ トマト 1,000㎡	平成27年8月～平成30年7月 農業委員 平成30年8月～令和6年7月 農地利用最適化推進委員	西庄	私は地元で長年農業を営んできました。しかし、この地域でも近年では高齢化が進み、また後継者がいないため農地を貸したいが特定の人がいなくて困っているとの声を聞きます。そういう人たちの為にも、農地の利用調整を図り、農地の貸借を円滑に行える環境を作り、地域農業の持続的発展に農地利用最適化推進委員に応募しました。	×		
										農業従事日数	300日/年
										農業経験年数	45年
9	宮田 茂	男	69	農業	水稲 10,000㎡ ナス 1,000㎡ ブロッコリー 1,000㎡ 菜の花 3,000㎡ エンドウ 1,600㎡	昭和58年4月～平成6年4月 池本運送 平成6年5月～平成25年6月 株式会社セイア 平成25年7月1日～ 自営業（農業）	足代	私は高等学校で農業を学び、地元で就職後兼業農家として、米やナス等の栽培に取り組んできました。退職後は、高齢化や後継者不足のため耕作が困難となった足代地区の農地を預かり、米や夏秋ナス、ブロッコリー、菜の花などの栽培をし出荷しています。 農作物の自給率の低下や耕作放棄地の増加を防ぐため、農地の貸借を円滑に行える環境を作り、地域農業の持続的発展に貢献したいと思い、農地利用最適化推進委員に応募しました。	×		
										農業従事日数	300日/年
										農業経験年数	42年

10	横田 仁	男	73	農業	水稲 1,100㎡	昭和44年4月1日～昭和62年3月31日 国鉄 昭和62年4月1日～平成22年3月31日 JR四国 平成24年6月23日～平成27年6月27日 JA阿波みよし理事	加茂	地域農業の状況を把握し、遊休農地の発生防止・解消等、農地利用の最適化に尽力するために応募しました。	×
					農業従事日数 150日/年				
					農業経験年数 33年				
11	高田 仁	男	68	農業	水稲 4,000㎡ 家庭菜園 1,500㎡	昭和49年～平成5年 養蚕連 ～令和2年 テクノサクセス	加茂	高齢化の為、農業後継者がいなくなり、空き農地が広がることを懸念し、農地を円滑に利用できる環境を作り、地域農業に貢献することを目的にと して委員に応募しました。	×
					農業従事日数 300日/年				
					農業経験年数 48年				
12	佐藤 博文	男	67	農業	野菜（少量多品種） 1,500㎡	昭和56年4月1日～令和2年3月31日 徳島県職員 令和2年4月1日～ 農業	昼間	私は長年県職員として多様な仕事を行い、退職後地元に戻り家庭菜園を営んでいる。しかしながら、地元で育っていた頃と異なり、耕作放棄地が非常に増えている現状から今回委員に応募し、地元地域の継続的な農業の発展に寄与したいと考え委員に応募しました。	×
					農業従事日数 250日/年				
					農業経験年数 5年				